

◀このRABコードは、SDL30 / SDL50で測定できます。

モデル名		SDL30	SDL50	
国土地理院測量機種登録		2級レベル		
高さ測定精度 (1km往復標準偏差)	電子的測定	BIS30A	0.4mm	0.6mm
		BGS40A/40/50	1.0mm	1.5mm
		BAS55	1.2mm	1.7mm
距離測定精度* (D=測定距離、単位はm)	電子的測定	BGS40A/40/50	1.0mm	2.0mm
		BAS55	1.5mm	2.5mm
		距離10m以下	±10mm以下	
測定方法	電子的測定	距離10m~50m	±0.1% x D以下	
		距離50m~100m	±0.2% x D%以下	
		単回/連続(精)/平均/連続(粗)/ウェービング測定 選択可		
測定範囲*	電子的測定	1.6 ~ 100m		
最小表示	高さ	単回/連続(精)/平均	0.0001 / 0.001m 選択可	
		連続(粗)/ウェービング測定	1cm	
		連続(粗)/ウェービング測定	10cm	
測定時間	単回/連続(精)	平均	2.5秒以内	
		連続(粗)	平均回数 x 2.5秒以内	
		連続(粗)	1秒以内	
望遠鏡	倍率	像	32x	28x
		対物有効径	45mm	36mm
		視界	1° 20'	
		分解力	3"	3.5"
		最短合焦距離(機械中心より)	1.5m	
		スタジア乗数	100	
		スタジア加数	0	
自動補正機構	方式	磁気制動ベンジュラム方式		
	自動補正範囲	±15'		
円形気泡管感度		10'/2mm		
水平目盛盤	目盛り(推奨)	1° (0.1°)		
ディスプレイ		グラフィック・ドットマトリックスLCD、128 x 32ドット、バックライト機能付き		
内部メモリー	記憶容量	JOB	2,000点	
		出力データフォーマット	最大20JOB	
		出力データフォーマット	CSV形式	
インターフェース(ボーレート)		RS-232C準拠(1,200 ~ 38,400bps)		
防水性能		IPX4 (JIS C 0920 : 2003準拠)		
使用温度範囲(保存温度範囲)		-20 ~ 50°C (-40 ~ 70°C)		
電源	バッテリー (Li-ion電池、7.2V)	連続使用時間(25°C)	BDC71	
		充電時間(25°C)	16時間以上	
		充電時間(25°C)	約4時間	
寸法	本体	158 (W) x 257 (D) x 182 (H) mm		
	質量	約2.4kg		

*RABコードスタッフ使用時

●標準付属品

バッテリー-BDC71、急速充電器CDC77、電源ケーブル EDC113、六角レンチ、ビニールカバー、シリコンクロス、取扱説明書、格納ケース

●アクセサリ(別売)

○グラスファイバースタッフ用着脱式気泡管: GS20L (感度20°)
GS60L (感度60°)



●RABコードスタッフ

○ニュースーパーインバーバルRABコードスタッフ
・BIS30A : 3.0m、1セクション、5.5kg
国土地理院 測量機種登録 1級A水準標尺
※SDL30/50との組み合わせで2級水準測量に使用できます。



○グラスファイバーRABコードスタッフ
・BGS40A : 4.0m、3セクション、2.4kg
国土地理院 測量機種登録 2級水準標尺
(着脱式気泡管GS20L付き)
※SDL30/50との組み合わせで3級水準測量に使用できます。



○アルミRABコードスタッフ
・BAS55 : 5.0m、5段、1.9kg
振り出し式RABコードスタッフ

トプコンソキアポジショニングジャパンがWebサイトをオープン!

SOKKIA — 建設の未来がここにある —
<https://www.topconsokkia.co.jp>



○製品に関するお問い合わせは
ソキアブランド測量機器コールセンター

0120-78-4100 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝日、弊社休業日は除く)

●Windows®は、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です。
●Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
●その他カタログ記載の製品名等は各社の商標または登録商標です。
●カタログ掲載商品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。
●カタログと実際の商品の色は、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。
【注意】正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

日本測量機器工業会のシンボルマークです。 JSIMA

株式会社トプコンソキアポジショニングジャパン
東京都板橋区蓮沼町75-1 〒174-8580 TEL (03)5994-0671 FAX (03)5994-0672

SOKKIA

SDL30 / SDL50

デジタルレベル

操作性を追求したデジタルレベル



デジタルだから簡単・正確・スピーディー 精度で選べるSDLシリーズ

■デジタルが実現した、シンプルな操作性

観測はたった簡単。スタッフに望遠鏡を向けてピントを合わせ、測定ボタンを一押しするだけで、高さや距離が自動的に測定されます。測定時間は2.5秒以内*と抜群の速さを実現。さらに、標準のメモリー機能と組み合わせれば、測定から記録までの一連の作業の自動化も可能です。「高さ」と「距離」を測るというレベル本来の機能を極限まで追求しました。

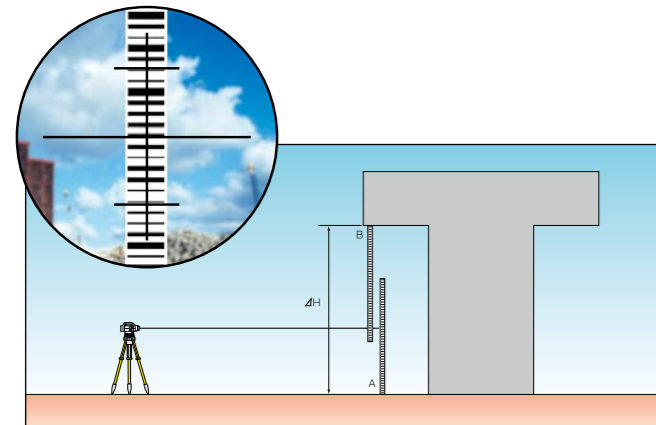


*単回、連続測定時。

■ソキア独自のRABコードスタッフ

慣れを必要としたスタッフの読み取りを、人に代わって機械が行います。読み間違いや測定の個人差といったヒューマンエラーが解消され、誰にでも正確な測定ができます。しかも、SDL30はニュースーパーインパルRABコードスタッフBIS30Aとの組み合わせで、1km往復標準偏差0.4mmと2級デジタルレベルとして業界最高の精度を実現しました。

スタッフには光や影のムラに強く、距離測定にも有効な独自のRABコード(RANdom Bi-directional code)を採用。天井からの高さを測るため、スタッフを逆にしても使用可能です。レベル本体が、スタッフの向きを自動的に検出し、測定値をマイナス(-)で表示します。



■先進の電源システム

Li-ion バッテリーを採用し、連続16時間以上の使用が可能です。通常の使用方法なら、1日分の作業は1個のバッテリーで行うことができます。

■目的で選べる測定モード

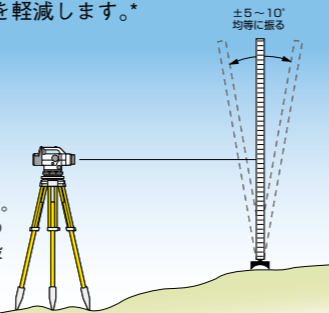
目的に応じて、精密単回、連続(精)、平均、連続(粗)、ウェーピングの5種類の測定モードが選択可能です。

世界初、ウェーピング測定機能を搭載

従来、レベル観測の際に行っていた「スタッフを前後に振る」という観測法を、デジタルレベルで可能に。最小値を読み取り、設置誤差を軽減します。*

測定範囲 高さ0.5~4.0m
距離5~50m

*スタッフ面の明るさが150lx以上の場合。なお、観測精度・観測時間は、観測時の風力状態、SDL本体、及びスタッフを設置する地盤状況により変化します。



■測定データのメモリー(標準)

データ記録用のメモリーが標準で搭載されており、比高測定モード・標高測定モードで、測定データの記録が可能。記録点数は2000点。データは手入力もできます。記録するデータの点番はもちろん、後視点・前視点・中間点など属性の設定、観測時の往路・復路の設定も可能です。データは最大20までのJOBに分けて記録でき、いくつかの現場の同時進行にも対応が可能です。

■デジタルが生んだアプリケーション機能

●比高測定機能

後視と前視の高さの差を計算表示。後視点は固定できるため、複数の前視点の高さを順次算出できます。標準のメモリー機能で、測定結果の記録も可能です。

後視高入力
Z 0041.7210m

前視点観測
前視点標高Z1、Z2、Z3を計算表示。
N Z 41.9352m
FS Rh 1.7420m
1001 Hd 35.09 m

●標高測定機能

後視点の標高を入力することにより、前視点の標高を算出。標準のメモリー機能で、測定結果の記録も可能です。

後視標高入力
BS Rh 2.5332m
1001 Hd 45.17 m

前視点観測
前視点標高Z4、Z5、Z6を計算表示。
N Z 130.5751m
FS Rh 2.0340m
1001 Hd 4.55 m

●測設機能

比高差・標高・水平距離による、3種類の測設(杭打ち)ができます。

シタニ
0.96m
Hd 5.00m

●デジタルガイドによる十字線点検調整機能

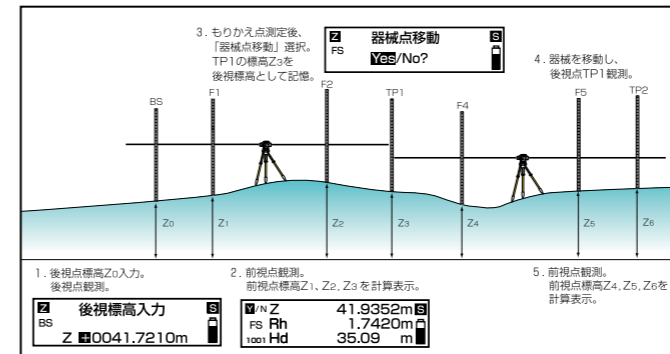
十字線調整手順をグラフィック表示。ガイドに従って、手際よく十字線点検調整ができます。



■SDL30/50 応用例

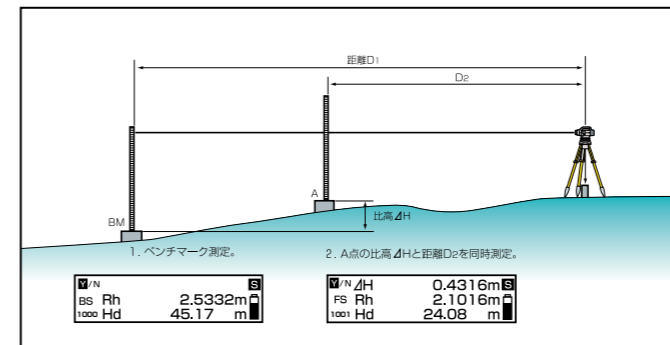
標高測定

「標高測定機能」を使えば、前視点の標高を自動計算表示。後視点の標高を入力して測定開始。もりかえ点観測後、「器械点移動」を選択すれば、もりかえ点の標高を後視点標高として記憶します。器械移動後、もりかえ点を後視にすれば、連続して標高測定ができます。



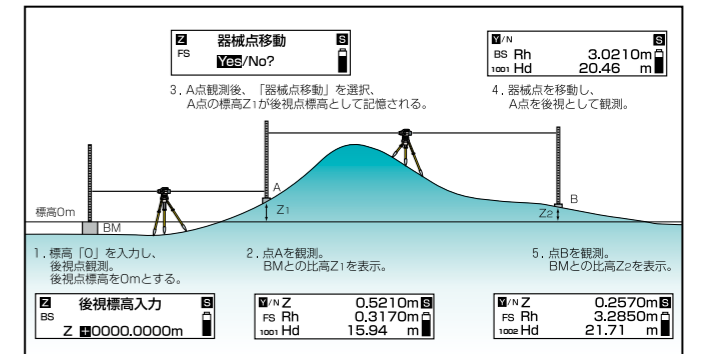
比高測定

「比高測定機能」を使えば、後視点との高低差を計算表示。0.1mmまたは1mm単位で測定できます。



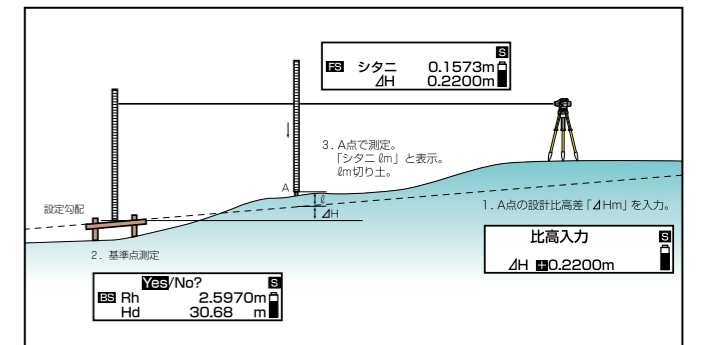
器械点をもりかえての比高測定

「標高測定機能」を使い、後視点標高を0mと入力すれば、後視点を基準とした高低差が測れます。標高測定同様、器械点をもりかえて観測できます。途中で障害物がある場合や、広範囲での比高測定に便利です。



勾配設定

「比高測設機能」で、基準点との比高差を入力すれば、勾配設定が簡単にできます。



SDL50

SDL50
0.6mm
精度*

SDL50
28x
倍率

IP
X4

*BIS30A使用の場合

SDL30

SDL30
0.4mm
精度

SDL30
32x
倍率

IP
X4

*BIS30A使用の場合